

第9期第4回中地区公民館運営審議会 会議次第

日 時 令和7年1月30日(木) 午前10時～11時30分
会 場 中地区公民館 4階 講座室

1 開 会

2 議 事

(1) 令和7年度事業に関する委員提案について・・・資料1
※提案内容について委員から説明をお願いします。(1分程度)

(2) 令和7年度事業計画について・・・・・・・・・・資料2-1, 2-2

3 その他

4 閉 会

令和7年度事業に関する委員提案

(石井委員)	
事業名（仮称）	新潟の女性たち（R6年度提案）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の中で女性たちが置かれている状況、女性たちが抱える問題を考える。 ・女性問題に関わってきた人・団体から、歴史を学ぶ。
目的・趣旨	日本のジェンダー指数の低下が注目される中、新潟の女性たちは、戦後から現在に至るまで、地に足を着けた活動を数十年にわたって続けてきている。その歴史を学ぶことで、現在及び未来の女性の問題を考えることは、社会教育の目的にかなうと考える。
その他補足説明	—
公民館から	社会の固定観念にとらわれず、女性たちが安心して暮らせる社会づくりを考えるきっかけづくりとして「女性の多様な生き方」を考える講演会を中地区公民館で予定しています。

(遠藤委員)	
事業名（仮称）	AED講習会
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にAEDを使ってみる。 ・救急時の取り扱い方法を体験していただく。
目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・AEDを見た事はあるけど、使った事はない方が多くいらっしゃる。 ・一次救命が救命率を大きく上げる事を理解していただく。
その他補足説明	
公民館から	R6年度の中地区公民館主催事業「アクティブシニア講座」後の自主サークル活動の中で、講座でお世話になった講師からAEDの操作方法や心肺蘇生のダミー人形による救命救急法を学びました。

(海津委員) ①	
事業名（仮称）	プロジェクトE～東区の奇跡をつくる～
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアレスキュー講習 ・防災ウォーク（防災リュック、お昼は防災食） ・気象予報士、防災士から「気候変動、防災」を学ぶ
目的・趣旨	学校と地域が連携して、防災力の向上へ 小・中学生が防災の知識を身に付け、活用できる。 知識を共有し、他の人にも伝える。
その他補足説明	災害は忘れた頃にやってくる。日々、意識して生活することが大切。
公民館から	R6年度は、山の下中学校2年生と新規で東新潟中学校1年生の総合学習の中で「能登半島地震ボランティア体験談」と「地域自治

	防災について」学びました。山の下中学校は、簡易テントと段ボールベット、新聞スリッパづくり、それとAED操作と救命救急の実技体験も行いました。令和7年度も引き続き、中学校と連携して生徒が自主的に考え、動ける人材育成を目指し、取り組みます。
--	--

(海津委員) ②	
事業名 (仮称)	才能に目覚めよう！～きょうからあなたもスマートシニア～
内容	スマホやタブレットを使いこなして、情報発信できるようになる。 インターネット活用 X・Twitter・Instagram・LINE アプリを使ってみよう YouTube・Copilot
目的・趣旨	情報社会 (society4.0) の次にくる社会は、超スマート社会 (society5.0) とも言われており、ロボットやAIなどテクノロジーによって、人間の可能性が広がる社会だ。 シニア層が多い人口構造の中で、元気なシニアは多い。テクノロジーによって社会に参画できれば、これまでの知識、経験を組み合わせ、やりがいにつなげることができる。
その他補足説明	シニアが生き生きしている地域は新しい価値観や行動を生み出す。未来を生きる子ども達を成長させ、自分も成長していく。
公民館から	両公民館ともに、シニアを対象にした「初心者向けスマホ講座」を開催しました。高齢者の方が、スマホへの関心が高いことと、スマホは持っているけど使い方が分からなくて困っていることがアンケート結果で分かりました。R7年度は、実践中心な内容で実施予定です。

(齊川委員)	
事業名 (仮称)	バックヤードツアー
内容	東区には様々な会社・工場・商店・公共施設が存在する。名前は知っていてもどのような物をどのようにして作っているのか、売っているのか紹介しているのかが分からない。またお店の人にしか入れないようなバックヤードに入らせてもらい、その特徴を知る。 ・新潟空港・新潟県立大学・新幹線車両センター・貨物ターミナル ・東区プラザ・北越製紙・ポンプ場・東消防署・航空自衛隊・警察自衛隊・製造業・新日本海フェリー船内 等々
目的・趣旨	普段何気なく見ている会社や施設であっても、その中身については何も知らない。実際そこを訪問して見学や説明をしてもらい、時にはあまり見ることができないところまで案内してもらいながら、働いている人への感謝や様々な職業に対する興味・関心を培いながら、ひいては東区への地域愛にもつなげていく事業とする。

その他補足説明	親子参加により現地集合・解散が可能となる。 シリーズものにするとうい。
公民館から	<p>今年度の中地区公民館の青少年体験事業として2事業、開催しました。1つ目は、日本銀行新潟支店で「お金の学びバスツアー」を開催し、銀行券の偽造防止技術や窓口見学などを体験してきました。20年ぶりの新紙幣の発行時期とも重なり、とても多くの応募があり、子どもたちの満足度も高い事業となりました。</p> <p>2つ目は、2月に新潟空港とトキエアからご協力いただき「お仕事体験バックヤードバスツアー/新潟空港編」を計画しています。内容は、新潟空港のバックヤード見学と空港スタッフのお仕事体験を予定しています。こちらも、すでにたくさんのお申し込みをいただいている状況です。</p> <p>子どもたちが、自分で考え、工夫しながら、ものごとに取り組む姿勢や協調性、社会性を身に着ける機会、そして日常、経験することができない職場体験などを通じて、様々な職業に対する興味・関心を培うことを目的に開催します。来年度もイオン新潟東店でバックヤードツアーなど、事業の開催を計画して参ります。</p>

(佐藤委員)	
事業名 (仮称)	①初めての趣味探し ②デジタルデバインド解消事業
内容	①趣味を探して生涯学習や人とのつながりの一助になるようなイベント。入会するサークルと違い、単発の初心者向けの体験、いろいろなことにチャレンジする機会づくり、ピラティス、ヨガ、日本舞踊、ズンバ、バレエ、フレイル予防体操、ボランティア養成講座、姿勢改善など ②災害時の情報収集の方法について具体的に操作してみる。病院のQRコードの読み取りから、予約までなど。
目的・趣旨	①定年後、時間のできた方から、子育て世代まで幅広く新しく趣味をみつけてみたい方が体験できる機会を持つ。 公民館事業に参加してみよう、足を運んでみようという人を増やす。敷居が高くてなかなかはじめられない内容だとより良い。 ②日常・災害時の情報の集め方を実践形式で個々に操作することで使える情報を提供、人とつながるアイテムを使いこなす。
その他補足説明	①全6回や10回講座にするが、毎回内容が違い、興味のある回だけ参加できるようにする。 ②おひとりさまになっても周囲と繋がっていけるようにする工夫の一つとして使っていけるように。参加申し込みや、事後アンケート

	ートもスマホでやってみても良いかも。
公民館から	<p>①は、ご提案いただいたアラカルト形式ではありませんが、両公民館ともにサークル体験会などの強化月間を設けて、新たな趣味探しのきっかけづくりに取り組んでいます。また、高齢者の居場所として開催している「ちいきのサロン」や「ご近所だんぎ」で、健康体操やフレイル予防体操の体験を行っています。令和7年度も引き続き、市民ニーズに沿った講座内容で参加しやすさも心掛けて実施します。</p> <p>②海津委員からもご提案をいただきましたが、両公民館ともに、シニアを対象にした「初心者向けスマホ講座」を開催し、新潟市防災LINEの使い方などを学び、情報収集力をUPし、自助力の向上を目的とした講座を開催しました。佐藤委員からご提案いただいた、事後アンケート入力も実践として効果的だと考えられるので、今後の参考にしたいと思います。</p>

(永井委員)	
事業名 (仮称)	<p>①防災について学ぶ～家庭でできる災害対策～</p> <p>②今から始める終活～日常生活・医療・相続・葬儀・お墓～</p>
内容	<p>①地震や豪雨、洪水、猛暑などの自然災害への備えと、それらが発生したときの対応について学ぶ。</p> <p>②自身や家族がいつか必ず迎える人生のエンディングに向けた備えと、残りの人生を充実させる方法や考え方を学ぶ。</p>
目的・趣旨	<p>①近年頻発している自然災害や災害級の猛暑に対する正しい理解を進め、適切な対応をとる手段を知ること、命や財産を守る一助とする。</p> <p>②自分や家族が死を迎える際の手続きを知り、起こる可能性の高いトラブルを回避するとともに、「死」について考えることを通して普段意識しない「生」を見つめる機会とする。</p>
その他補足説明	<p>①自助を中心としながら、共助や公助についても触れ、災害対策に関する社会の仕組みを知る機会とする。また、家族でできるちょっとした工夫も多く紹介し、対応に向けた実践力の向上にもつなげる。</p> <p>②つつい避けて通りたくなる「死」について取り上げることで、「死」に触れることを避けるのではなく、家族全員で前向きに考えることができるようにし、家族の在り方や「生」の充実について考える機会にもなればよいと考える。</p>
公民館から	<p>①R6年度に「アクティブシニア講座」で能登半島地震ボランティア活動経験のある講師から、災害に備えて準備したいものなどについて講義いただきました。また「親子防災教室」は、住んで</p>

	<p>いる地域の特性や家族で避難する場所について確認することの大切さなど、災害への備えを親子で学び、話し合うきっかけづくりとして開催しました。</p> <p>②R6年度に石山地区公民館「お互いさまネット石山」で、安心な生活の備えと終活の一步として「よろしくねノート(エンディングノート)」や「緊急キット」を活用し、地域で医療・介護に備える講座を開催しました。</p>
--	---

(野本委員) ①	
事業名(仮称)	新潟と東京の生活 ー新潟で生きる魅力ー
内容	新潟で生きる魅力を考える。
目的・趣旨	新潟の魅力だけではなく、暮らしにかかるお金を新潟と都内で比較など
その他補足説明	「新潟と都内での生活 ー新潟で生活する魅力ー」について、都内は仕事やエンタメが多くあるため、県外流出を止めることは困難だと考えるが、新潟と都内の暮らしを比較する(生活費だけではなく、両親や友人と何回会えるか?)、新潟で生活するメリットを個人レベルでよいので発見するきっかけになることを願う。
公民館から	R6年11月16日に石山地区公民館と東石山中学校と共催で、全校生徒と地域住民を対象に「わが町を学ぶ 東石山地域の歴史」講演会を開催しました。地域の方は24人の参加がありました。地域を知ることによって郷土に対して愛着と誇りを持つと共に、今後の生き方の参考としてもらうことができました。

(野本委員) ②	
事業名(仮称)	日本酒入門講座
内容	講師の講演や試飲など
目的・趣旨	日本酒の楽しみ方を知る(新潟のお酒の特徴など)
その他補足説明	
公民館から	R6年度に生涯学習センター「にいがた市民大学～もっと知りたい「日本酒学」～」を10回コースで開催しています。隣接区での開催なため、東区内の公民館開催は見合わせます。

(坂内委員)	
事業名(仮称)	これからの時代を生きるための安心できるインターネットSNSの使い方
内容	・保護者、児童・生徒、地域住民対象

	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを通じたトラブルや犯罪の防止 ・ トラブルや犯罪の事例を通して正しいSNSの使い方の理解 ・ 会場は小学校で行う。
目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒には事例を通して安全で、トラブルや犯罪に巻き込まれないための正しい情報発信、未然防止につなげる。 ・ 保護者、地域住民へは、家庭教育の責任者として、子どもとのかわり方や、どのようにしたら正しく安全な使用ができるのかを知る。 ・ 地域住民や保護者と児童が交流することで、児童にとって正しい使い方を身に付けることができる。
その他補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師を依頼する。 ・ 学校と共催で行い、連携を取って開催する。 ・ この事業を開催することで、公民館事業への理解をすすめることができる。
公民館から	<p>詳しい内容は、これからの相談になりますが、R7年度に下山小学校さんと共催で開催する予定です。</p>

(古川委員)	
事業名 (仮称)	健康維持や子育てやI C機器などに関する出前講座
内容	公民館から離れた場所に住む市民むけの出前講座
目的・趣旨	<p>中地区公民館は東区の北西端に近い場所に立地している。また石山地区公民館も東区の南西端に近い場所に立地し、線路や河川に囲まれている。こういった立地条件のため、公民館から離れた場所に住む市民にとっては、公民館は遠い場所という感覚が強いのではないかと。</p> <p>公民館の講座が近くで開催されれば、遠方への移動に支障がある子育て世代や高齢者なども参加しやすいと感じると思う。会社等に勤務している人たちも勤務終了後、近くであれば参加しやすいのではないかと。</p> <p>コミ協や学校などから出前講座の依頼を待つのではなく、コミセン・コミハなどに場所を確保し、公民館の出前講座といった形で、健康や子育てやPC・スマホなどの講座をこれまで以上に開催できたら、公民館を遠い存在と考えていた人達が公民館を身近に感じるようになると思う。</p> <p>公民館の努力だけでは難しいでしょうが、区や市の関係部署の連携があれば可能だと思う。</p>
その他補足説明	
公民館から	事業の目的や効果等で開催会場を決定し、コミセンや小中学校、

	<p>東区プラザなどを会場に事業を開催しています。今年度の幼児期家庭教育「親子のびのび広場」は、初めてイオン新潟東店で開催し、たくさんの親子からお申し込みをいただき盛況に開催しました。来年度も、同会場で家庭教育事業やバックヤード事業などの開催を予定しています。</p> <p>また、R6年度は、10か所のコミュニティ協議会と連携して、12事業の実施および計画中です。今後も、コミ協や小中学校、地域団体とより連携して、地域の方が公民館を身近に感じられるような事業を開催して参ります。</p>
--	--

(良知委員)	
事業名 (仮称)	<p>①小学生期家庭教育学級</p> <p>②子ども学習会</p>
内容	<p>①小学生期の子どもの発達課題や接し方、大人のあり方について学ぶ。</p> <p>②長期休暇中も規則正しく過ごす習慣、宿題をやりきり、休み明けに自信を持って学校に行けることを目的とする。学習会はぜひ続けてください。</p>
目的・趣旨	<p>①小学生期の子どもの親世代は働いている方が多く、なかなか時間が取れないのではないのでしょうか。講座の対象を親だけではなく、孫の面倒を見ている祖父母にまで広げて、参加しやすくしてはどうか？</p> <p>②平日でも子ども達がフリースペースで勉強や会話をしている光景をよく見ます。休みに入ると人数も多くなり、公民館を利用して勉強や友達とのふれあいに大いに役立てて欲しいです。</p>
その他補足説明	
公民館から	<p>①R6年12月24日に石山地区公民館で児童期家庭教育学級「親子で分かり合える子どもの心と体の成長を促すかかわり方」を開催しました。対象は「テーマに関心のある方どなたでも」としました。外国籍の方の参加もありました。</p> <p>②「子ども学習会」は、夏休みと冬休みに開催し、それぞれ定員以上の応募があり、毎回、参加しているといった声も聞かれ、子どもの居場所としてもニーズが高く、定着している事業です。来年度は、この庁舎の空調設備改修工事等により事業が開催できないので、山の下中学校やイオン新潟東店を会場に学習会を予定しています。(参考：R7夏休み学習会は、短期間で2か所開催を予定。)</p>

令和7年度事業計画 中地区公民館

資料2-1

中地区公民館												
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	回数	実施予定月	時間帯	連 携				備 考
								市・区	学校・地域教育コーディネーター	地域コミ協等	連番委員・活動協力員・ボランティア	
1 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援	1	山の下地区・桃山校区コミュニティ協議会共催事業「夏まっさかりフェスタ」	地域住民の交流を目的に、山の下・桃山地区コミュニティ協議会と共催し、地域との関わりを深めるため、子どもとその保護者向けのイベントを開催する。	総合	1	7月	午後			○		山の下地区コミュニティ協議会、桃山校区コミュニティ協議会
	2	山の下地区・桃山校区コミュニティ協議会共催事業「親子工作体験」	地域住民の交流を目的に、山の下・桃山地区コミュニティ協議会と共催し、地域との関わりを深めるため、親子で参加できる工作体験を開催する。	総合	3	7月	午前・午後			○		山の下地区コミュニティ協議会、桃山校区コミュニティ協議会
	3	桃山校区コミュニティ協議会共催事業「親子料理教室・親子DE防災」	桃山校区コミ協と共催で親子料理教室・親子防災教室を開催する。	総合	2	9月・10月	午前		○	○	○	桃山校区コミュニティ協議会、PTA、食生活改善推進員、桃山小学校
	4	下山地区コミュニティ協議会共催事業「夏休み親子事業」	下山地区コミュニティ協議会と共催し、地域との関わりを深めるため、子どもとその保護者向けのイベントを開催する。	総合	1	8月	午前			○		下山地区コミュニティ協議会
	5	東山の下地区コミュニティ協議会共催事業「映画観賞会」	東山の下地区コミュニティ協議会と共催し、地域の子もたちと大人が情緒豊かに、あたたかい気持ちで過ごせるような映画を上映する。	総合	2	6月・11月	午後			○		東山の下地区コミュニティ協議会
	6	地域のたから再発見事業「大形まちあるき」	「大形ちいき楽会」と連携し、参加者が地域への関心を高め理解を深める内容のまち歩きを実施する。	総合	1	9月	午前	○		○	○	大形地区コミュニティ協議会、大形ちいき楽会、東区地域課
	7	地域のたから再発見事業「山の下・桃山の昔のはなし」	「中地区地域楽」と連携し、小学生に地域の歴史について学ぶ会を開催する。	少年	1	2月	午前		○		○	中地区地域楽、桃山小学校
	8	地域のたから再発見事業「東区歴史講座」	東区歴史サークル情報交換会と連携し、「東区歴史見どころマップ」を活用した歴史講座を開催する。	成人	4	11月	午前・午後	○		○	○	東区歴史サークル情報交換会、各コミュニティ協議会、東区地域課
	9	地域のたから再発見事業「ガイドマップ作成」	ガイドマップを必用に応じて増刷し、配布する。	総合	1	通年	午前・午後	○		○	○	東区歴史サークル情報交換会、各コミュニティ協議会、東区地域課
2 家庭における教育力向上の支援	10	子育て応援講座～乳児期編～(前期)	乳児期の家庭教育について考える。保護者対象の連続講座を開催する。	成人	4 連続講座	9月	午前	○				東区健康福祉課
	11	子育て応援講座～乳児期編～(後期)	乳児期の家庭教育について考える。保護者対象の連続講座を開催する。	成人	4 連続講座	2月	午前	○				東区健康福祉課
	12	幼児期家庭教育学級	幼児期の保護者の学びと交流の場。保護者対象の連続講座を開催する。	成人	4 連続講座	2月	午前				○	企画委員
	13	親子のびのび広場	幼児期の保護者の学びの場として、また子どもの成長の場として親子遊びを実施する。	総合	2	2月	午前				○	活動協力員
	14	保育者連絡会	各事業の保育室運営を円滑に行うための、保育者との情報交換会を開催する。	成人	1	4月	午前					
	15	子育てサロン「ひだまり」	ボランティアスタッフの協力により、保育室を会場に未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供。保健師の育児相談や絵本の読み聞かせなどを実施する。	総合	自由参加	通年(工事期間除く)	午前	○			○	活動協力員、ボランティアスタッフ、山の下図書館、東区健康福祉課
3 青少年の生き抜く力を育む機会の充実	16	少年体験事業(きらきらチャレンジ・大形ぼてっ子サークル)	体験活動を通して自ら考え、取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。	少年	4 毎回募集	8月・1月	午前				○	活動協力員
	17	子ども学習会(夏休み・冬休み)	長期休暇中も規則正しく過ごす習慣をつける、宿題をやりきることで、休暇終了後に自信を持って学校に行けることを目的に、夏期・冬期に開催する。	少年	9 連続講座	7月～8月、12月	午前	○			○	新潟県生涯学習協会、イオン新潟東店、山の下中学校
	18	青少年の居場所事業「ホットプレイス」	公民館に学校や家庭以外の「空間」を設け、地域の大人と子どもがふれあうフリースペースを提供する。	青年	自由利用	通年	午前・午後・夜間		○			山の下中学校美術部

令和7年度事業計画 中地区公民館

資料2-1

中地区公民館												
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	回数	実施予定月	時間帯	連 携				備 考
								市・区	学校・地域教育コーディネーター	地域コミ協等	連審委員・活動協力員・ボランティア	
	19	学習室開放事業	青少年の個人学習の支援を目的に、公民館の和室・会議室を学習スペースとして提供する。	青年	自由利用	7・8・2・3月	午前・午後・夜間		○			山の下中学校美術部
4 高齢者の学習支援や社会参加の促進	20	ちいきのサロン「この指と〜まれ」	中高年の社会参加を促し、経験や能力を生かすことにより、地域の輪を広げるとともに、生きがいを持つことを目的とする。公民館版「地域の茶の間」。	高齢者	12 自由参加	通年	午前	○			○	東区健康福祉課 ボランティアスタッフ
	21	アクティブシニア講座	健康づくり・生きがいづくりなどをテーマに、高齢者が生き生きと生活できるための連続講座を開催する。シニア世代を中心に幅広い世代が交流できる講座とする。	高齢者	2	6月・11月	午前				○	活動協力員
	22	シニア向けスマホ教室	電話・メール・インターネット検索などの簡単な操作方法を学び、スマホを活用できるようにする。	高齢者	2	6月・7月	午後				○	ソフトバンク株
5 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供	23	山の下中学校連携事業「ジュニア防災」	山の下中学校及び山の下コミ協等と協働し、地域の将来を担う中学生に防災教育を実施し、地域課題の解決に資する人材を育成する。	少年	1	10月	午後	○	○	○		山の下地区コミュニティ協議会、 山の下中学校、東区総務課
	24	東新潟中学校連携事業	東新潟中学校と連携し、中学生の課題を理解し、PTAや地域で共有し、子どもたちの健全な育成に繋げる。	少年	1	11月	午後	○	○			東新潟中学校、東区総務課
	25	下山小学校連携事業【新規】	下山小学校と連携し、SNSとの付き合い方について学ぶ講演会を開催する。	総合	1	5月	午前		○			下山小学校
	26	オンライン活用講座	デジタルデバイドの解消に向け、オンラインを活用した講座を開催する。	総合	2	6月・3月	午後					
6 その他	27	公民館文化祭	サークルの活動の発表の場として、作品展示を開催する。	総合	2 自由参加	2～3月	午前・午後				○	中地区公民館使用団体連絡協議会
	28	東区公民館芸能祭	サークルの活動の発表の場として、東区の公民館合同で音楽芸能祭「おんフェス」を開催する。	総合	1 自由参加	10月	午前・午後				○	東区公民館音楽芸能祭実行委員会、 中地区公民館使用団体連絡協議会
	29	サークル体験会	自主グループの活動育成強化月間を設け、体験会の開催により活動を支援する。	総合	1 自由参加	3月	午前・午後・夜間				○	中地区公民館使用団体連絡協議会
	30	自主グループ育成事業	自主グループの活動育成を支援するため、体験会や発表会の実施について広報や助言等を行う。	総合	1	随時	午前・午後・夜間				○	中地区公民館使用団体連絡協議会
合計					70							

令和7年度事業計画 石山地区公民館

資料2-2

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	回数	実施予定月	時間帯	連 携				備 考
								市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア	
1 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援	1	お互いさまネット石山	高齢化によって発生する地域の問題を把握し、地域を中心にした支え合いのまちづくりを目指す。	総合	3 連続講	6月	午前			○	○	石山管内4コミュニティ協議会(中野山・東中野山・南中野山・江南小学校区コミ協)
	2	ご近所だんぎ	地域課題をテーマとして取り上げ、学習・話し合いを行うことで、地域で支えあうまちづくりについて考えるきっかけとする。	総合	4 自由参加	通年	午後				○	ご近所だんぎ世話人(東区地域住民)
	3	あなたと探るまちの魅力	地域の歴史や文化を学び、地域への関心を高め理解を深める機会とする。	総合	2 自由参加	10月	午前				○	活動協力員
	4	「すごぼり」の桜並木を歩こう	コミュニティ協議会等と連携し、すごぼりの桜並木の散策・ゴミ拾いを通じて、地域コミュニティ活動の活性化及び地域の子どものとおとなの交流及び環境美化意識を深める機会とする。	総合	1 自由参加	4月	午前		○	○		
2 家庭における教育力向上の支援	5	乳児期家庭教育学級	乳児期の子を持つ保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる講座を開催する。	成人	1	12月	午前	○				
	6	児童期家庭教育学級	児童期の子を持つ保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる講座を開催する。	成人	1	9月	午前				○	
	7	子育てサロン「ぴーかーぶー」	保育室を使い、0歳から未就園児までの親子の居場所と情報交換や仲間づくりの場とする。	総合	10 自由参加	通年(4金)	午前				○	子育てサロンボランティアスタッフ
	8	子育てサロン「いちごランド」	保育室を使い、0歳から未就園児までの親子の居場所と情報交換や仲間づくりの場とする。	総合	10 自由参加	通年(1火)	午前				○	子育てサロンボランティアスタッフ
3 青少年の生き抜く力を育む機会の充実	9	冬休み子ども体験	体験活動を通して子どもたちの豊かな心を育み、交流できる機会を提供する。	少年	1	12月	午後				○	活動協力員
	10	コミュニケーションカアップセミナー	中学生を対象に、円滑な社会生活を送るうえで欠かすことのできないコミュニケーションスキルの向上に目を向けた講座を実施する。	少年	2	10・11月	午後		○			石山中学校
	11	石山中学校合唱発表会	石山地区公民館定期利用団体が石山中学校合唱発表会の審査・講評を行い、地域と学校の連携を図る。	少年	1	10月	午前		○			石山中学校、石山地区公民館合唱サークル
	12	青少年の居場所づくり	公民館の談話室を子どもたちが安心して遊びや勉強等ができる「居場所」として提供し、交流できる機会を提供する。	総合	自由利用	通年	午前・午後・夜間					
	13	学習室開放事業	公民館の1室を学習室として開放し、個人学習の支援を図る。	少年	自由利用	通年	午前・午後・夜間					
5 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供	14	スマホ講座	高齢者の生活に役立つ知識(健康づくり・生きがい等)を習得するための講座を開催し、地域社会との繋がりを保ちながら生き生きとした生活を送れるよう支援する。	高齢者	1	11月	午前				○	活動協力員
	15	人権に関する講座	全ての人々が尊重され、お互いの大切さを認めあうために、人権に関する学習機会を提供する。	成人	1	1月	午前				○	
	16	いしやま寄席	日本語文化に触れる機会と笑いによる健康づくりの機会を提供するとともに、自主的活動を支援し、将来に向けた人材の育成を図る。	成人	2	5・11月	午後				○	新潟落語会

令和7年度事業計画 石山地区公民館

資料2-2

石山地区公民館												
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	回数	実施予定月	時間帯	連 携				備 考
								市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア	
6 その他	17	公民館へいってみよう!	住民の公民館デビューのきっかけづくり、公民館定期利用団体(サークル)の活性化を目的に、サークル体験会を開催する。	総合		3月	午前・午後・夜間					
	18	石山地区公民館文化祭(展示部門)	定期利用団体の作品展示を通じ、学習の成果を地域に発表することで学びの還元も図る。	総合	自由参加	10月	午前・午後・夜間		○		○	
	19	東区公民館音楽芸能祭	中地区公民館と合同で定期利用団体の音楽芸能祭を開催することにより、学習の成果を地域に発表するとともに学びの還元も図る。	総合	自由参加	10月	午前・午後				○	
	20	石山地区野球大会	野球大会を通じ、健康増進をはかり、石山地区管内で活動する団体の親睦・交流・連帯意識を深める機会とする。	総合	7	6~8月	午前・午後			○		石山地区野球連盟
	21	自主グループ育成事業	事業共催により、自主グループの活動育成と支援を図る。	総合		随時	午前・午後					
合計					49							